

.....
預言成就の引き金となる 2 つの事および聖餐式

今日は、2017 年最大の預言的引き金に目を向けたいと思います。このような例えを使って、申し訳ないのですが、「銃弾は、すでにこめられている」引き金が引かれるのは、時間の問題です。そこで、これからお伝えするのは、引き金となる二つの事です。他にもありますが、これらは私がメインと見ている 2 点です。両方ともが、イスラエル、特にエルサレムが標的の中心となっています。

一つ目の預言的引き金は、今日から 7 日後、来週日曜日に、フランスのパリで予定されている中東和平会議です。国連安保理決議 2234 に関して、70 か国が協議します。この決議は、満場一致で通過しました。オバマのアメリカ合衆国は棄権、また拒否権を行使しませんでした。これについては、以前お話ししているので今日は言いませんが。イスラエルにとって、これは最悪のシナリオだと私は思っています。また、人々が理解していないのは、トランプ次期大統領はこれを覆す事が出来ないのです。これは変更する事も出来ず、唯一、覆すか、変更する事ができるとすれば、新たな国連決議によるしかないのです。そして、それが起こる見込みは極わずか、または皆無だと言われています。Breaking Israel News の面白い記事を紹介しますと、その中で、質問が投げかけられています。

「オバマは、ゴグとマゴグを開始させたのか？」

これは、ユダヤ人の視点から書かれたもので、クリスチヤンの視点ではありません。これから記事の一部を読みますが、その点を念頭に置いて聞いてください。

“贖い支持者の Eli Solbe 氏が、最近の国連安保理 反イスラエル決議投票の際の、アメリカの棄権と、メシア到来時の大戦争とを結び付けて動画にし、12月26日にフェイスブックに投稿して以来、大炎上。2万6千回以上視聴されたこの動画の中で、Solbe 氏は「贖いのしるし」「メシアが近づいているしるし」を主張。国々は、エルサレム、イスラエルをユダヤ人から取り上げようとしている。ユダヤの大きな預言である、ゴグとマゴグ（これはエゼキエル38章、39章の事を言っています）それが、我々が贖いに達する前の、最後で最大の壁であり、それが出現し始めている。それが我々の目の前で、具現化している。彼は来る1月15日、フランスで予定されている、中東和平会議に関する、最近のロイターニュースに触れ、トラーでは、70ヶ国という言い回しは、実際の方が70を超えていても、世界の諸国を象徴すると説明。Solbe 氏は、ユダヤの教えでは、ヘゼキヤ王の時代、セナケリブ（アッシリアの王）がエルサレムに攻めてきた時、彼がゴグであるはずだったと。彼は、セナケリブを無神論者のナルシストと呼び、直接指さす事なく、オバマ大統領の最近の国連安保理での動きは、セナケリブの、ナルシストという欠点を共鳴する、と指摘した。そして、国々がエレッツ・イスラエルを奪おうと、策略して攻めてくる。しかし、ハシャム（神）が、彼らの策略を阻止し、それがメシア、救世主の黙示と続く。Solbe 氏は読者に、フランスで行われる予定の会議は、メシア到来の過程であり、ただの政治的戦略だ等と考えて騙されない様に、と伝えた。”

私はこの言葉にとっても感謝しています。何故かと言えば、私も、実にたくさんの方からしょっちゅう、「政

治の話に偏り過ぎだ！」と言われます。勘弁してください。

彼はさらに、軽快な口調で言います。

“メシアはものすごく近づいている。贖いが非常に近づいている。” 繰り返しますが、ユダヤ人の視点で見ると、これはしっくりきます。“我々は元気を出して、メシアの言う、善い行い、親切な行いをして、出来る限り向上しようではないか！”

わお。これはユダヤ人の視点ですよ。「メシアが到来する！」それが具現化してきていて、起こり始めている！我々の贖いが近づいている！！彼が、信者としてルカ 21:28 を引用しながらこう言っているなら、どれほど良いか。みなさん、理解しなければなりません。みなさんにとって、聖書預言は新しい事で、それは私も理解しています。しかし、ユダヤ人達は、まだメシアを探しているのです。彼らは真のメシアを拒絶したからです。そして、そのために彼らは偽メシアを信じてしまうのです。それが、自分たちのメシアだと考えてしまうのです。そして、7年の中間地点の3年半で、この反キリスト、反メシアが、憎む荒らすべき事を行い、そこで彼らは、これは自分たちのメシアではない、偽メシアだと気づくのです。彼はこの平和協議で、神殿再建を認めますが、本物のメシアは、絶対にそれはされません。そして、7年患難の後半に、彼らは逃げるのです。私はそこは現ヨルダンのペトラだと信じています。そこで、神が大患難の後半、3年半の間、主の民、イスラエルを守られます。そして、イスラエ全家が救われます。ちなみにそれが7年の大患難の目的であり、ユダヤ民族の救いの為です。これはダニエルの70週目です。69週はすでに成就され、我々は今、その最後の週、第70週目を待っているところです。それが7年間であり、ダニエルの第70週目です。そして、私たちはもうそこまで来ていると思います。もうそこまで来ています。

二つ目の預言の引き金は、アメリカ大使館のエルサレムへの移転です。その証拠は、Jerusalem Post 紙の、脅しに関するこの記事です。

「もし、トランプがアメリカ大使館をエルサレムに移動するなら、『大流血』が起こるだろう」
記事によると、

“ドナルド・トランプの次期政権が、アメリカ大使館を、テルアビブからエルサレムに移すなら、パレスチナは新しく反撃を開始する」と、ファタハ（パレスチナの政党）の高官が、今週行われたインタビューの中で示唆した。「アメリカのいかなる愚行が、パレスチナテロリストを扇動する」とファタハ中央役員の一員である、Sultan Abu al-Einei が、エジプトのテレビ局 Alghad で日曜日発言した。さらに、執行委員会議長であり、大統領のマフムード・アッバースの補佐である、al-Einei は、イスラエルに向かってこう言った。「傲慢さと入植活動が、アメリカの戦略と共に、パレスチナの暴力を誘発させている。」
あの、悪魔的な国連決議の後から、彼らは少々凶々しさを増していると思いませんか。実に凶々しくなっています。

——記事 “「我々は、アメリカの新政権と対立する準備をしなければならない”

彼らは明らかに、また凶々しくも宣言しました。聞いてください。

——記事 “「イスラエルと、入植活動は、正式に不法なのだ」”

違うと言って！

——記事 “パレスチナ高官は、ワシントンとエルサレムは、パレスチナ領土内での流血の責任を負うことになる。”

マタイ 24 章で、再臨と世の終わりの時のしるしについて、イエスが弟子たちに聞かれました。これは、2つの事に関する質問でしたが、イエスが言われた事のリストの中に、戦争のことや、戦争のうわさ（戦争の脅し）を聞くとあります。それから、地震についても言われました。みなさん、地震がどれくらい起こっているか、また、どれほど増加しているかご存知ですか？それから飢饉、疫病、国は国に敵対し、民族は民族に敵対する。そしてそれは、産みの苦しみだと言っています。つまり、どんどん激しく、頻繁になる。これらは、今日まさに起こっているとっておきます。

これは、パレスチナの脅しでしたが、次はヨルダンです。Ynet News によると、

“ヨルダンも共鳴して、「アメリカ大使館をエルサレムに移動させるのは、『レッドライン』（超えてはならない一線）だ」ヨルダン政府広報が、木曜日に警告——「もし、ドナルド・トランプ次期大統領が、正直に公約を守って、アメリカ大使館をエルサレムに移すなら、『大異変』を招く結果になる」そのような動きは、アメリカとヨルダンを含む、地域の味方国の間に影響を及ぼすと、ヨルダン情報大臣ムハンマド・モマニは、The Associated Press で公で初めて問題について語った。「大使館移動は、ヨルダンにとってはレッドラインであり、それは、イスラムとアラブの路上を火の海にし、過激派への『贈り物』となる。」と彼は言い、さらに加えて「ヨルダンは、政治的、外交的にあらゆる可能性を使って、このような決断を防ぐ」アメリカは、問題の多い中東に置いて、西洋支持派のヨルダンは重要な味方と見ており、ハシミテ王国は、ISIS と戦うアメリカ率いる連合国の中でも、シリア、イラクと隣接するカギとなるメンバーで、イスラエルとも、用心深く安全関係を維持している。ヨルダンは、さらにエルサレムとの利害関係を持っていて、東区域で、イスラム第三聖地の管理者として務めている。イスラエルは、1967 年にヨルダンからエルサレムを奪還し、首都として加えた。ここは、ユダヤ人にとっては、最も聖なる地であり故郷だ。”

私はここを神殿の丘だと主張します。ところで、国連の決議は、西壁をイスラエルのものだと主張する事を違法としました。言い換えれば、そこはイスラエルのものではないという事です。なので、もし、私たちがまだここに居て、御心ならば、“主の御心ならば”と強調して言います。2018 年、来年と言ってもいいですが、今から 2 年先です。この場所西壁に、私たちは行くことも出来ません。ここは、ユダヤ人とクリスチャンの制限が設けられたのです。ちょっと考えてみてください。

続けて彼（ムハンマド・モマニ）は言いました。

——記事 “「地域的な状況を含めて、あらゆるレベルの大惨事を意味していて、周辺諸国は、恐らく違う風に考え、そしてこれを止めるために、踏み出そうとするだろう”

これは脅迫です。

それから、みなさん、金曜日のフロリダの空港で起こったテロ攻撃について、聞いておられるでしょう。このテロリストが熱心なイスラム教徒であるとは、みなさんも聞いていないでしょう。この写真は、ヤソ

By Dailymail.com Reporter
06:50 07 Jan 2017, updated 15:13 07 Jan 2017



ー・アラファトの名を広めた、パレスチナのカフィエを被っています。さらに、これはとても重要で、彼の指は ISIS に忠誠を誓う者には共通のサインを示している事です。何かが起こり始めている。ところで、これらは皆さんには伝わらないでしょう。残念ながら FOX ニュースまでも、大手ニュースメディアはもう、真実について語りません。とても悲しい事です。それから、今朝私が来る前に、緊急速報で報道していたものがあります。これは本当に惨事です。

動画も出回っていますが、とても残酷な映像なのでおすすめはしません。現在、エルサレムはすでに夜の 10 時近くですが、今朝エルサレムで、イスラムテロリストが、4 人のイスラエル兵を殺害。傷者の数は現在も増加しており、少なくとも 16 人の人たちの上を、トラックでひきました。これは、ISIS がベルリンとフランスで行ったのと同じです。これはイスラム国です。これがイスラムです。今はみんな“過激派イスラム”と言いますが、これは意味が重複しています。そんなものは、ありませんから。また、“穏健派イスラム”なんてものも、存在しません。穏健派テロリスト？お願いしますよ。私は、そこまで鋭い方ではありませんが、それでも実に馬鹿げている。これはイスラムです。そして、これがエルサレムで起こった。これがとても気になるのです。

これらの事から私が言いたいのは、これらと、他の引き金と一緒に引かれた“時”は“もし”ではなく、“その時は”ですよ。聖書預言が素早く、また突然起こるでしょう。ちなみに、イエスは「わたしはすぐに来る。(黙示録 22:7)」と言われました。そして、ご存知の通り、ここで使われている言語のギリシャ語は、「TACHOS」そこから、タコメーターという言葉が来ています。ある一定の時間、1 分間の回転数 (RPM) を計ります。TACHOS=タコメーター。言い換えれば、物事の加速度が増した時に、イエスが来られるという事。

現在、成就されつつあると私が見ている 4 つの主な預言は、いくつかについては、新年預言アップデート Q&A でお話ししましたが、私はこれらがそれぞれ互いに絡み合っていると思っています。そして私が思うに、1 つ目はイザヤ 17 章。

“ダマスコは取り去られて町で無くなり、廃墟となる。” (イザヤ 17:1)

私は、ダマスカスに関するイザヤ 17 章が、エゼキエル 38 章の預言の起爆剤になると思っています。ロシア、イランとの同盟国が、イスラエルを攻撃するという預言で、彼らがシリアを経由してくるからです。そして現在すでに、イラン、ロシア、トルコ、エゼキエル 38 章にあげられた、全ての国がシリアに居て、イスラエルを攻撃する準備が整っています。そしてイザヤ 17 章、エゼキエル 38 章と協調するのは、ゼカリヤ書 12 章の預言です。これは、エルサレムに関する預言で、主はこういわれます。

“わたし(神)はエルサレムを、その周りのすべての国々の民をよろめかす杯とする。” (ゼカリヤ 12:2)

そして、彼らは憑りつかれた様に、エルサレムを分断しようとする。これは、今日私たちが目撃しているのとまったく同じです。

次に、なぜ私はダニエル 9:27 をそこにいれたかを説明します。これは良く聞かれるのですが、大晦日に少し触れましたが、詩編 83 章はどのようなのか？私は詩編 83 編も、まだ終わっていないと思っています。なぜそう思うかと言うと、これが、預言的出来事になる可能性もあるからです。詩編 83 編に書かれている、これらの人々、これらの国々が、イスラエルを地図の上から消し去ろうとする。私はまだ詩編 83 編を考慮しています。しかし、いわゆるそれを材木にして、組み立てる事はしません。何故かと言うと、ある時点で詩編 83 編が、すでに成就されている可能性もまたあるからです。例えば、1948 年、1973 年、その前の 1967 年。まさに、これらの国々が、イスラエルを地図上から消し去ろうとして攻撃しました。その内分かんと思えます。こんな答えで良いでしょうか？そのうち分かるはず。では、なぜダニエル 9:27 を入れたのか？なぜなら、ダニエル 9:27 は、実に具体的に書かれていて、反キリストが 7 年の平和協議を“強制する”というのです。つまり、それは、すでに存在していたもので、ある人は、1933 年のオスロ合意だと言います。それがついに、反キリストによって強制的に承認される。他の訳では、「強制的に課す」とも言っています。もしこれがそうなら、全てがぴったり当てはまります。なぜなら、3 年半の時点でこの反キリストは、自身が神殿に入り、自分を神として拝む様に命じるからです。このため多くの人々が、反キリストがイスラム教徒だとは、あり得ないと言います。イスラム教徒は、自分を神だと呼ぶことは出来ませんから。そこで、どうかよく聞いてください。私が言いたいのは、確かなところは、私には分かりません。また、これらがどのような転がって行くのか、具体的に言える人は誰もいないと思えます。どのように繰り広げられていくのか。しかし、私が確信をもって言えるのは、もう、成就し始めているという事です。単純に考えて、このように、正確に特定して詳細が書かれた預言が、同時に、それも完璧な形で起こる確率は、統計上どれほどあるか。神がそうなると言われた通り、同時に起こる。私は数学者ではありませんが、それでも、統計学の側面から見て、これは類を見ないと言わざるを得ません。

次に、それぞれが自問すべき質問です。

2017 年の年頭、ここに居る自分にとって、これは何を意味しているのか？もし、あなたが新生したクリスチャンなら、2017 年は、神の事について、真剣になるべき年ではないでしょうか。神の事を真剣に受け止めず、いい加減なことをしている時間は、もうないと思えます。私たちの生きている今は、非常に容赦ない時代だと私は思えます。クリスチャンごっこをしながら、主との関係を実にあいまいにしている。今こそ、私たちイエス・キリストに従う信者が、この世と、この世のものへの執着を、一切手放す時だと思います。パウロは、ローマ書 13 章で、「やみのわざを打ち捨てよ (ローマ 13:12)」と書いています。もしこの中に、世のもの、罪に喜びを感じている人がいるなら、それを打ち捨てるべきです。主に赦していただき、その罪を清めていただかなくてはなりません。もう、いい加減なことをしている時間は無いのです。もしあなたがクリスチャンでないなら、これがあなたに意味する事は、今がその時だという事です。今こそ、今日こそが、あなたにとって、人生の中で最も重要な決断をする時です。永遠の命の為に。新年を始めるにあたって、共に聖餐の食卓に着き、共に祝う。これ以上にふさわしい事はないでしょう。なんと素晴らしい新年の始まりでしょうか。また、残りの少ない時間で、今日から主の御業を始める人には、なんと素晴らしい機会でしょうか。

天のお父様。私たちは、ただ恐れ驚くばかりです。私たちは、ただあなたに恐れ驚いています。そして、あなたのみことばに、恐れ驚いています。あなたは、事が起こった時、私たちが信じるようにと、事が起こる前に、これから起こる事をみことばの中で伝えられました。だから信者たちは贖いが近づいたことを知り、体をまっすぐにし、頭を上げます。主よ、ありがとうございます。主よ、終わりの時について、あなたのみことばの中で、これほど詳細に与えてくださった事に感謝します。私たちは、あなたのみことばを見、世を見て、これらの預言の点と点を結び合わせ、現在、世で起こっている事は、あなたがみことばの中で語られた内容、そのものだと感じます。そこで主よ。これから聖餐式にあずかるにあたって、この場を去る前に、ここに居る人々が最も重要な決断をするように。イエスの御名によって、お祈りします。アーメン。

聖餐式

先週、デボーションの時間に気付いて驚いたのは、毎年、新年になるとセットになって襲ってくるプレッシャーです。新鮮な気持ちで、新しく始める事へのプレッシャー。よく考えてみると、これが結構重荷になっているのです。“新年の抱負”…私はとっくの昔にやめました。目標を掲げ、私たちは毎年新年になると、自分自身で自らを、失格者になるように仕向けていると思います。考えてみてください。私たちは、クリスマスから新年にかけて、お祭り騒ぎ、一年の締めくくり、家族との時間、たくさんの食べ物…。たくさんの食べ物、有り余るほどの食べ物。ただ、1月1日を迎えるために、です。そして、その日一緒について来るのは、新年への期待感。新年に、私たちが行いたいと思う事、せつかく新しい年なのだからと。前年のファイルを閉じ、古い年はさようなら、新しい年にこんにちは。なぜこんなことを言っているのかと言うと、新年最初の礼拝、主と新しく始めるには、最高の機会じゃないですか。ところで、あなたを新しくするのは主に任せて、主にしかできない方法で、行ってもらってください。聖霊にしかできない方法で、していただきます。私たちクリスチャンが聖なる生き方が出来るとしたら、それは聖霊の力以外にはあり得ません。人はこういいます。「新しい年、私はこれがしたい！」「今年の目標はこれだ！」「これが、私の新年の抱負！」。そうではなく、主にこんな風に言ってみてはどうでしょうか。「主よ。新しい年、あなたは私に何を望まれますか？」今までに、一度も神の御名を呼び求めた事がない人に対しては、私は確信をもって、神の權威の元、あなたが何をすべきか言えます。「主の御名を呼び求めて救われる。」これが新年、第一に主があなたに求めておられる事です。ただ、主を呼び求める。主があなたの為に支払ってくださった対価を受け入れる。あなたの全ての罪を、全額支払ってくださったのです。繰り返しますが、そうするには、今、ここが最高の機会です。今しないで、いつしますか？ここでしないで、どこでしますか？どうして先延ばしにするのですか？リスクが高すぎます。時は迫っているのです。ローマ 12 章が適切でしょう。

“あなたのからだを、神に受け入れられる、聖い、生きた供え物としてささげなさい。”

「あなたが良いと思うままに、私をお使いください」と言ってみてはどうでしょうか。「あなたの喜びの為に」「あなたの完全な御心にかなう捧げ物として、受け入れられるように。」「主よ。あなたが私に求め

ておられるものを、私にお与えください。」「あなたが、私に与えようと思っておられるものが、最善であると、私は知っているからです。」「あなたは、始めから終わりをご存知です。」「主よ。私はこれまでに、あまりにも多くの新年を、希望で迎え、最終的には失望に終わりました。」「その理由も私は分かっています。私が、自分の力でそれを行おうとしていたからです。」「だから神よ。私はあなたの御前に進み出ます。」「あなたは、新しく創造される神。あなたは新しく始められる神。」

“主はいつくしみ深く、その恵みはとこしえまで”（詩編 100:5）

あなたのあわれみは、朝ごとに新しく、年ごとにもまた新しい。これが、今日私が主に代わって、あなたに伝えたいことです。」「私はあなたのものです。」「主よ。あなたの思うままにお使いください。」「イエスの御名によって。

主よ。私たちがあなたを覚え、これが行えるようにしてくださって、ありがとうございます。主よ、私たちの代わりに砕かれた、あなたの体に感謝します。主よ。永遠のいのちという、無償の賜物をありがとうございました。あなたが命をもって贖ってくださいました。主よ。今日私たちは、聖餐に預かる事で、あなたが私たちの代わりに支払ってくださった対価を私たちは受け入れたことを示します。そして同時に、私たちの全ての罪を全額支払ってくださった事に感謝します。主よ、ありがとうございます。

私たちには約束が与えられています。

“たとい、あなたがたの罪が緋のように赤くても、雪のように白くなる。”（イザヤ 1:18）

“東が西から遠く離れているように、私たちのそむきの罪を私たちから遠く離される。”（詩編 103:12）

“わたしは、もはや決して彼らの罪と不法を思い出すことはしない。”（ヘブル 10:17）

どうしてそんなことがあり得るでしょう。それは、イエス・キリストの血によって、可能となったのです。イエス・キリストの血の威力です。それを、今日私たちは祝っているのです。聖書には、

“血を注ぎだすことがなければ、罪の赦し（取り除かれる事）はないのです。”（ヘブル 9:22）

そして、イエスの血が、私たちの罪の赦しのために、私たちの代わりに流されたのです。

“神は、罪を知らない方を、私たちの代わりに罪とされました。”（第二コリント 5:21）

そして、主の血で私たちの罪の全額を贖われたのです。だから、私たちの全ての罪が赦されたのです。だから、私たちは喜ぶのです。

愛する天のお父様。私たちが今日、ここで行ったことを、いつかあなたと共に行える日が来ると考えるだけで、言葉に言い尽くせない思いです。主よ。私たちもまた、あなたと同じように、今ここで私たちが行

ったことが、その日、最終的にあなたの御国で成就されるその日が来るのを心から望み、熱望します。だから主よ。私たちは言います、マラナタ！主よ。早く来てください。イエスの御名によって、アーメン。

このメッセージはカルバリーチャペル カネオへの JD ファラグ牧師が公開したメッセージを、アメリカ在住の日本人クリスチャン木下言波が翻訳して YOUTUBE やブログに上げたものを文字化したものです。リアルタイムで知りたい方は、Calvary Chapel Kaneohe (英語)、「DIVINE US」(日本語)を検索してください。世界的なインターネット規制が始まろうとしています。私達はその日のために、文字にして紙に記録する必要を感じました。また、インターネットに不慣れな方や字幕を追って読むのが困難な方のためにも必要があると主に迫られたと感じます。

※インターネットのメッセージを、文章化するこの働きを始めた姉妹が、現在目を患って治療中です。どうか、りょくさんの為にも、お祈りください。

「きょう、もし御声を聞くならば、あなたがたの心をかたくなにはならない。」

ヘブル4:7

メッセージ by JD Farag 牧師 カルバリーチャペルカネオへ <http://www.calvarychapelkaneohe.com/>
Calvary Chapel Kaneohe

47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

訳 by 木下言波 DivineUS : <https://www.youtube.com/user/TheDivineUs>

筆記 by まい